



岩江中だより

第42号

発行日：平成27年 2月26日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【暖かな陽ざしに包まれて！ ～春の気配が感じられます。～】

町民の一員として、町と共に、町の行事・活動に積極的に参加するのが岩江中学校生徒です。しばらく途絶えていた『ふくしま駅伝』への参加についても、おかげさまで、本年度2名の岩江中学校生徒が参加させていただき、練習から本番まで、町民の代表として、とても一生懸命活動に取り組んでくれました。

今回は、町内小5・6年生、中学生全員を対象とした『平成26年度選挙啓発書道展』に1～3年生のほぼ全員が参加し、中学校1～3年生までの最優秀賞を独占するという快挙を成し遂げてくれました。結果概要は以下のとおりです。子どもたちの体の中には、すばらしい能力が見え隠れしています。まずは、取り組むこと、為すことから見えてくることってあるものです。学校の活動もそのとおりで、普段物静かな子どもさんが作文の学習で見事な文章を書き上げたり、運動一筋の子どもさんがきれいな歌声を披露したりと、可能性は無限大とも言えます。

本校では、運動部が本当に盛んですが、文化面でも意欲をもって取り組んでいる生徒が多くいます。運動部と文化部の両立がうまくできるように校内で顧問同士で話し合っています。ぜひ、“チャレンジ”する気持ちを大切に、もし、それにより、体の中の未知の能力が発揮されることになれば、ますます、『こころ豊かに』人生を送れ、ひとみ輝く学校生活が送れるようになるかもしれません。生徒のみなさん、保護者のみなさん、自らの、そして、お子様の『Next One』をめざし、ぜひ、チャレンジを！書道展入賞者のみなさん、おめでとうございます。

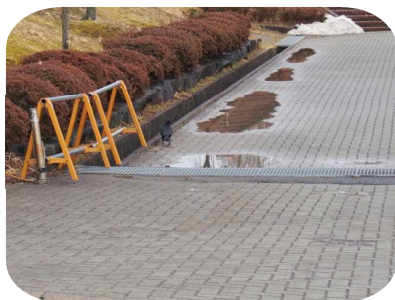
『平成26年度選挙啓発書道展』審査結果

	第1学年	第2学年	第3学年
最優秀賞	武部 優一	齋藤 康文	佐々木南緒
優秀賞	栗山 堇 (他校1名)	加藤なぎ (他校2名)	宮村 美咲

(敬称略)

【暖かな陽ざしに包まれて！ ～春の気配が感じられます。～】

朝、横断歩道にたっていると、目の前の雑木から、「バキッ。バキッ。」という音が聞こえてきました。何だろうと思って、音のする方へ目をやると、何やら黒い物体が。それは、枝に止まる黒いカラス君でした。枝につかまりながら、巢にちょうどよさそうな太さの枝をくちばしでくわえて、折っていたのです。「バキッ。」と折った枝をくわえてカラス君。一旦、私の上を飛び越えて、道路を挟んだ反対側の大きな倉庫の屋根に止まりました。その後再び、目の前の枝に舞い降り、別な枝をくわえて再び飛び去りました。巢の補修でもはじめるのでしょうか。それとも春の準備なのかな。体育館通路にさす陽ざしは明暗がくっきりしてきました。中庭の短い草の緑色も少し濃くなったような気がします。寒さはまだまだ残ります。路面凍結やスリップにはもう少し気をつけなければなりません、着実に春は近づいてきています。つらく、長い寒さに耐えた子どもたちには、きっと極上の春がやってくると確信します。



【うれしく、少し悲しい季節がまた巡ってきます。～もうすぐ卒業式！～】

体育館では3年生が卒業式の準備を始めました。保育所、幼稚園、小学校、中学校と学び続け、

3月13日（金）には、思い出のたくさんつまった岩江中学校を巣立っていこうとしています。巣立ちの日はとても喜ばしいのですが、私が出会った一人ひとりの生徒との思い出を振り返ると、もっともっと一緒にいたいなあと思いついてしまいます。

今日は、卒業式の入退場、座礼、立礼、代表の言葉などの練習でした。立派に成長した一人ひとりの姿は、折からの春のような陽ざしに照らされて、とても立派に見えました。さまざまなことを経験し、学び、乗り越え、お世話になり、がんばり、今があります。これからいいこともありますが、平坦な道ばかりではないはずです。がんばってほしいなあ。負けないでほしいなあ。胸を張って自分の道を進んでいってほしいなあと思いながらの練習見学でした。



【船引高校デュアル実習成果発表会に参加してきました。】

2月24日（火）は、田村市文化センターで行われた、田村市版デュアルシステム運営協議会と船引高校主催の『平成26年度デュアル実習成果発表会』に参加してきました。

生徒の進路希望100パーセント実現を目標に、船引高校では、『高校は「学びの場」であり、「社会に出るための訓練の場」である』という教育理念のもと、週に1日、1年間、職場実習を行います。実習は授業の一環ととらえ、2年生の前期・後期で2社、3年生は1社で通年、職場実習に取り組むそうです。

デュアルシステムに関する説明の後には、生徒が実際に行った実習の発表でした。実習体験をとおして、“働くことのたいへんさ・つらさ,” “向上心をもつことの大切さ” “コミュニケーション能力の大切さ” “身だしなみやあいさつをきちんとする意味” “話をきちんと聞くことの大切さ” などについて発表がありました。その中には、企業から内定をいただいているという生徒が多くいました。為すことをとおして学ぶ、経験から学ぶことで、学びがさらに深まっていきます。

中学校においては、職場体験に代表されるキャリア教育（本校：『生き方を見つめよう』）をとおして、望ましい職業観、勤労観を身につけさせます。具体的には、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの力を子どもたちに身につけさせたい力（基礎的・汎用的能力）としてあげています。

中学校と高校の連携・系統性を意識した指導も欠かせないと感じました。



